

誠信交隣 21

縁地連だより

No.22



NPO法人 朝鮮通信使縁地連絡協議会

目 次

- はじめに NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長・・・1
- < 縁地連の活動 >
- ユネスコ連絡部会設立、ロゴについて
NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会事務局・・・2
- < 各地域の活動 >
- 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会を終えて
全国交流会上関大会実行委員会事務局・・・4
- 今年は第7次ウオーク。旅のアラカルト
21世紀の朝鮮通信使友情ウオークの会・・・6
- 牛窓に残る朝鮮通信使の足跡 岡山県瀬戸内市・・・9
- 松濤園からのお知らせ (公財) 蘭島文化財団・・・10
- 雨森芳洲先生生誕350周年、長浜市対馬市友好のまち縁組20周年
等事業のお知らせ 滋賀県長浜市・・・11
- 川越唐人揃い 川越唐人揃い実行委員会・・・13
- 大垣市制100周年記念 朝鮮通信使に係る様々な事業を展開！
岐阜県大垣市・・・15
- 在日本大韓民国民団滋賀県地方本部 創団70周年記念
朝鮮通信使シンポジウム 在日本大韓民国民団滋賀県地方本部・・・17
- 平成30年度実施イベントについて 兵庫県たつの市・・・19
- 友情ウオーク日光訪問に旅たつ 東京日韓親善協会連合会・・・21
- 過去と現在が交錯する街 しものせき 山口県下関市・・・22
- 相島歴史の会2018年度の行事からトピックス！ 相島歴史の会・・・24
- 対馬市の事業お知らせと釜山文化財団イベントについて
長崎県対馬市・・・27
- 会員名簿・・・29

はじめに

寒さ控えめであった冬も終わりを告げ、草木の芽吹く気配が感じられる季節となりました。

縁地連会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、去年はユネスコ記憶遺産登録を受けてユネスコ記憶連絡部会が結成され登録資料の保存・活用を目的とした活動が開始されました。

まずは図録の製作とデジタル化を事業の軸に据え事業を推進する予定でございます。皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、去年は韓国国立海洋文化財研究所の製作による、朝鮮通信使船の復元船が完成し、今年には対馬へ、また来年には朝鮮通信使のルートを再現し、日本中を巡ることを目標としております。

まずは今年に対馬でどのように迎えるか、これを皆様にお知らせして、来年皆様の地域へこの船が到着することのできるよう検討を行ってまいりたいと考えております。

また改めて皆様にはお知らせすることになると思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

2019年度は、雨森芳洲先生の生誕の地、滋賀県長浜町で全国交流大会が開催される予定です。

当協議会のモットーでもある「誠信交隣」の精神を説いた偉人を輩出した当地における全国交流大会は、高月町から換算して3回目となる全国交流大会は、長浜市としては初めての開催となり、豊臣秀吉公のお膝元として知られる長浜市でこの大会が行われることに、大きな意義と期待を感じております。

それでは皆様、長浜市でお会いいたしましょう。



<朝鮮通信使復元船上より>

2019年

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会

理事長 松原 一 征

○ユネスコ連絡部会の設立について

平成29年10月31日に朝鮮通信使に関する記録がユネスコ記憶遺産登録されたことを受けて、当団体内にユネスコ連絡部会を設立することについて、平成29年度総会において承認がなされたところですが、平成30年8月29日に朝鮮通信使ユネスコ連絡部会の設立を行いました。

登録資料所有者、日本推進部会を母体として、縁地連会員の加入も妨げないという方針で会員を募り賛同者の皆様と立ち上げた団体となります。

主な事業の内容としては、朝鮮通信使に関する記録に関しての情報交換と、資料保存、活用に関する事業を行うこととしており、当面の事業として朝鮮通信使に関する記録の図録作成とデジタル化が予定されております。

図録については、共同申請者である財団法人釜山文化財団との共同事業という側面もあり、日韓両国において作成した図録を最終的に一つの箱に収め、一つの図録となす、という想定で進めております。韓国側図録については、ハングル版がすでに完成しており、これから日本語版作成となる予定です。

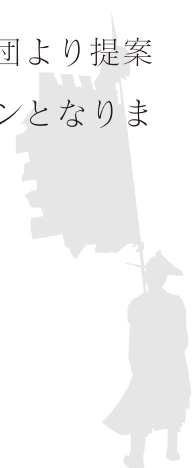
日本版図録については、日韓両国語を同時掲載で作成予定です。

デジタル化については、ユネスコ記憶遺産に関してユネスコが推奨している「世界中どこからでも資料にアクセスできる」ことをかなえるためのものとなり、非常に重要な意味を持ちます。

手探りの中で進んでおり、至らない点も非常に多いかと存じますが、何卒ご理解ご協力お願いいたします。

○朝鮮通信使日韓共通ロゴについて

平成30年度総会の中でお知らせしたとおり、財団法人釜山文化財団より提案があった朝鮮通信使日韓共通ロゴについて次ページのとおりデザインとなりましたので、お知らせいたします。



このロゴの活用については、財団法人釜山文化財団との間で使用に関する取り決めを行い、活用を希望される皆様に、日本側では縁地連事務局より使用許可を出すことを検討しています。



朝鮮通信使
Joseon Tongsinsa



朝鮮通信使ゆかりのまち 全国交流会上関大会実行委員会事務局

朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会を終えて

去る平成30年11月17日・18日に山口県上関町の上関町総合文化センターを主会場として、『朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会』が開催されました。

上関町での全国交流会の開催は、「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）に登録されてから、約1年経過した全国交流会であり、上関町にとっては初めての開催、また、平成最後の全国交流会でもありました。

大会1日目は、朝鮮通信使縁地連絡協議会理事会、総会に始まり、午後からはフィールドワークとして、朝鮮通信使高校生会議に参加した山口県立柳井高等学校の生徒による発表、引き続き、生徒によるガイドで史跡めぐりを行いました。参加されたみなさまも高校生のガイドに熱心に耳を傾けられ、お楽しみいただけましたことと思います。

その後、朝鮮通信使縁地連絡協議会研究部会の総会、研究報告が行われ、夕方には交流晩餐会が行われました。

交流晩餐会では117名もの方々が参加されました。

交流晩餐会ではアトラクションとして、韓国舞踊、日本舞踊、和太鼓の公演が行われ、会場は熱気で溢れ、たいへん盛り上がりました。

大会2日目は、一般のお客様もお楽しみいただける『朝鮮通信使上関到来まつり』を同時開催し、開会行事に始まり、山口県文書館副館長 金谷匡人氏を講師に迎え、「朝鮮通信使と上関」と題して基調講演が行われ、日韓文化交流では、上関小学校児童による上関水軍太鼓、韓国舞踊団ポドルフェによる韓国舞踊、上関中学校1年生による朝鮮通信使創作劇が行われ、午前の部は終了いたしました。

午後からは、屋外に会場を移し、約100名の参加者により、朝鮮通信使の行列を再現いたしました。行列は上関地区の町中を通った後、上関地区から室津地区への移動は8隻の船団を組んで『朝鮮通信使船上関来航図』を模した海上パレードを行い、室津地区で改めて行列を行いました。

その後、主会場に隣接する道の駅 上関海峡にて国書交換式ならびに閉会行事を行いました。

閉会終了直後に雨が降り始めましたが、無事にイベントを終了することが出来ました。

述べ数ではありますが、大会1日目は約1,000名、2日目は約2,000名もの方々にご来場がいただきました。



<行列再現の様子>

朝鮮通信使が上関に訪れた際に、朝鮮通信使一行の健康管理等を行っていた小泉家（萩藩上関御用医師）の末裔のみなさまも地元上関町にて大会が開催され、参加できたことを大いに喜ばれました。

また、朝鮮通信使の再現行列、ならびに海上パレードを初めて間近で見られたという地元上関町の方は「感動した。涙が出た。」と目に涙をため、涙声にお話されたことが印象に残りました。

初めて全国交流会を開催する上関大会実行委員会事務局にとって、交通の便の悪さや宿泊施設の少なさという問題を抱え、ノウハウも持ち合わせておらず、未知の領域に足を踏み入れるような状況の中で、会員のみなさまにはご迷惑をおかけいたしました。多数の会員の方々のご参加をいただき、ありがとうございました。

また、前年の開催地である京都市様をはじめ、過去の開催地の事務局及びNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会、朝鮮通信使行列振興会のみなさまから資料・情報提供、アドバイス等をいただき、たいへんお世話になりました。

おかげさまで、全国交流会を盛会に終えることができましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



<国書交換式の様子>



今年第7次ウオーク。旅のアラカルト

21世紀の朝鮮通信使友情ウオークの会 遠藤靖夫

朝鮮通信使の旅、ソウルー東京を歩く友情ウオークも今年で7回目。2年に1度だから毎年機関紙には実施予告、終わった後の報告を掲載している。しかし、参加者の顔ぶれに違いはあるものの（実はそこが旅の醍醐味ではあるが）基本形は変わらず、レポートのマンネリ化は免れない。趣向を変えて旅の“内側”を紹介する。

《大統領制と全員野球》

日本の隊員の立場からいうと、このウオークは「韓国ではお客さん」「日本に入ると番頭さん」だ。対馬海峡を境に「攻守所が変わる」旅なのである。運営も強力なリーダーシップを発揮する大統領制そのままの韓国と「全員野球」を旗印に分担を決めて対処する日本、お国柄の違いが表れる。



まず韓国。第1次から正使を務める韓国体育振興会の宣相圭会長は6次までの全行程を完全踏破している元東国大学事務総長。その下でドライバーもつとめるスタッフが朝の荷物の積み込みから、運搬、歩行中の安全や休憩のおやつを支給、自治体折衝、食堂、宿舎の対応など多様な仕事をこなす。それらの指示が宣正使から出されるのだが、上意下達の厳格さはまるで軍隊のよう。

一方、韓国で歓迎された日本隊は対馬海峡を渡ると受け入れ側の立場だ。それぞれの隊員が役割を担うが、たとえばこんな担当名一。「会計」「自治体」「コース」「旗手」「アンカー」「宿舎」「通訳」「受付」「参加者集計」「部屋割り」「酒保」「洗濯」「交通機関」等々……。韓国隊員にいい旅を、とみんなで全力を尽くす覚悟だが、前途を思うと、「このまま海峡に身投げしたい」と日本側の責任者は船上でつぶやく。

《自治体》

「韓国人は情が深い」という。自治体の対応もそうだ。初期のころはゴールと同時に歓迎セレモニーが催され、そのまま夕食会に招待、ということが3日に1度はあった。韓国体育振興会が事前に十分な根回しをしているからであろうが、

日本では考えられない“ご接待”。最近、食事会は減っても毎日のゴールと出発式はたいてい市、郡、洞、邑などの自治体庁舎が多く、職員の出迎えや湯茶の歓迎やセレモニーはいまも続く。

そんな韓国から日本に渡る最初が対馬市。第1次の時(2007年)、市長出席で歓迎セレモニーをやってくれたのは感激したが、お茶の一杯もなく彼我の落差に涙が出た。しかし、その後は友情ウォークの知名度が上がったせいか、静岡県掛川市をはじめ、三島市、岡崎市、彦根市の各市長の出迎えも。滋賀県の三日月知事は偶然の出会いをきっかけに毎度激励してくれ、第5次では釜山の日本総領事が日韓関係者を集めて歓迎レセプションを開いてくれた。その時の総領事、松井貞夫さんは今回、本隊員としてソウル―釜山を歩く。この原稿を書いている最中に、同総領事館から「第7次も歓迎します」とうれしい連絡が入った。

《宿泊と食堂》

韓国での宿泊施設はほとんどモーテルである。ただ、モーテルといってもビジネスホテルからラブホテル風なものまでさまざま、ダブルベッドの部屋か布団を床に敷くオンドル部屋にわかれる。原則2人で宿泊するが、日本人はダブルベッドに同性同士で寝る習慣がない。床に寝るための布団を別にお願ひするが、そのことが理解できないモーテル側とたまにトラブルもある。

日本ではビジネスホテル、旅館、ユースホステルなどに泊まる。旅館や公共の施設は夕食が付いてありがたい半面、たいていの旅館は大勢で泊まると風呂やトイレに難がある。

食堂は明暗がはっきり。韓国では三度の食事がすべて外食。午前中のウォークの目的地、小さな集落でも30人、40人収容の食堂がある。そして手配がいいのか、韓国料理の特性なのか、出てくるのが早く、その料理ときたら昼から参鶏湯、ヒメマスヒメマスの刺身、アヒルの鍋料理、といったご馳走なのだ。韓国側で3食×22日間のすべてを異なるメニューといってもよく、通信使ウォークに参加すると、「韓国の食が丸ごと味わえますよ」とPRしている。

対照的なのが日本。まず、コース上に食堂が少なく、多勢を収容できるところなど皆無。従って昼食はコンビニで購入し、公園等で広げることになる。夕食となると、食堂探しでいつも青息吐息の日々だ。

そんな文化や生活習慣、環境その他諸々の違い、困難を乗り越えてやって来られたのは、芳洲先生の「誠心の交わり」を肝に銘じてきたせいかな、と思う。

完

第7次朝鮮通信使ウォーク 参加者名簿

◆ソウル～東京 10人

金	承南	(大阪市生野区)	1933年8月)
遠藤	靖夫	(埼玉県さいたま市)	1942年4月)
増田	孝	(福岡県北九州市)	1945年6月)
大嶋	敏晴	(東京都荒川区)	1950年1月)
中川	賢治	(東京都江戸川区)	1952年11月)
嶋	文子	(東京都調布市)	1943年11月)
森	紀子	(東京都府中市)	1946年8月)
李	恵美子	(大阪市東住吉区)	1950年5月)
高橋	美智子	(東京都江戸川区)	1950年8月)
李	性任	(千葉県柏市)	1964年3月)

◆ソウル～鳴海 1人

牧野	行雄	(神奈川県湯河原町)	1946年10月)
----	----	------------	-----------

◆ソウル～京都 1人

佐藤	恵子	(秋田県大館市)	1937年3月)
----	----	----------	----------

◆ソウル～大阪 1人

吉川	達也	(神奈川県横浜市)	1941年5月)
----	----	-----------	----------

◆ソウル～博多 3人

延与	恭子	(三重県鈴鹿市)	1948年7月)
高橋	幹雄	(静岡県浜松市)	1950年7月)
清水	道子	(長野県安曇野市)	1951年1月)

◆ソウル～釜山 4人

岡安	サダ子	(神奈川県横浜市)	1941年9月)
稲垣	ユキ	(北海道札幌市)	1944年9月)
鎌田	悦子	(北海道函館市)	1945年1月)
松井	貞夫	(東京都杉並区)	1952年4月)

◆博多～東京 2人

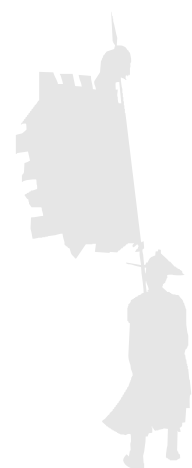
針生	平太郎	(千葉県柏市)	1941年7月)
小林	幸子	(東京都荒川区)	1942年8月)

◆ソウル～忠州 慶州～大阪 静岡～東京 1人

小林	克一	(千葉県船橋市)	1945年9月)
----	----	----------	----------

◆大阪～東京 1人

金井	三喜雄	(埼玉・浦和市)	1944年1月) 搬送担当
----	-----	----------	---------------



牛窓に残る朝鮮通信使の足跡

瀬戸内市は岡山県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られたまちです。また、備前長船の刀剣や古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家「竹久夢二」の生家等の豊かな文化資源があるまちでもあります。

その中でも、市南西部に位置する牛窓地域は「美しの窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄えました。特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、通信使が宿泊したことのあ
る本蓮寺や御茶屋跡など、当時の歴史的文化的遺産も数多く残されています。

そうした歴史のある牛窓地域にて、平成30年度も市民主催の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」が11月4日に開催されました。

当日は朝鮮通信使行列が再現され、本市が友好交流協定を結んでいる韓国密陽市の中学生らも参加し、楽器演奏や舞踊を披露しながら本蓮寺までの約2キロを、日韓両国の約200人が華やかな衣装で練り歩きました。本蓮寺では正使役の朴起準駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也瀬戸内市長が「国書」の交換儀式を行い、両国の善隣友好を祈念しました。また、午後からは市内小学生や密陽市中学生などが韓国の伝統芸能を披露するステージイベントもあり、両国の友好交流を深める一日となりました。

当イベントは、平成31年度も開催を予定しています。自然美、感性美、伝統美、瀬戸内の美が溢れる瀬戸内市へ皆様のお越しをお待ちしております。



昨年夏の朝鮮通信使行列再現
(関門海峡と九州の門司港を臨む)

松 濤 園

(公財) 蘭島文化復興財団からのお知らせ。

広島県呉市下蒲刈町で毎年開催している朝鮮通信使再現行列が2018年10月21日に無事開催されました。16回目を数えた今年度は天気にも恵まれ、約6000人もの方に下蒲刈島に来島いただき、観覧いただきました。

今回の朝鮮通信使再現行列では、2017年12月に就任された、金宣杓駐広島大韓民国総領事に正使役を務めていただき、下蒲刈市民センターから下蒲刈中学校までの1.2kmの海沿いの道のりを輿に乗って、約280名の参加者と一緒に行進していただきました。



2019年には、これまで朝鮮通信使の資料館として通信使の魅力を皆さまにお伝えしてきた松濤園が開館25周年を迎えます。これを記念して秋には『松濤園開館25周年記念特別展 朝鮮通信使 - 江戸時代の国際交流 -』を開催します。朝鮮通信使との交流に焦点をあて紹介し、また、2017年10月末に朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録されたことも併せて紹介します。当財団が所蔵する登録資料の『朝鮮人来朝覚 備前御馳走船行烈図』とともに、他館から借用した資料も公開予定です。

2019年度の松濤園御馳走一番館の展示

- | | |
|------|---|
| 所蔵品展 | I) 4/17(水)～6/24(月)『国書改竄と国交の回復』 |
| | II) 6/26(水)～9/2(月)『朝鮮通信使が見た日本の景色』 |
| | III) 9/4(水)～9/30(月)『朝鮮通信使と来日の影響』 |
| 特別展 | 10/2(水)～11/11(月)『松濤園開館25周年記念特別展
朝鮮通信使 - 江戸時代の国際交流 -』 |
| 所蔵品展 | IV) 11/13(水)～1/27(月)『朝鮮通信使の旅路』 |
| | V) 1/29(水)～4/6(月)『朝鮮通信使と江戸時代の饗応』 |

平成30年度 滋賀県長浜市

ユネスコ「世界の記憶」登録記念事業～芳洲がつなぐ長浜と対馬の友好の絆～ 雨森芳洲生誕350年・長浜市対馬市「友好のまち縁組」20周年記念事業 報告

近江国雨森村（現滋賀県長浜市高月町雨森）は、江戸時代に対馬藩に仕え、朝鮮との善隣外交に尽力した儒学者・雨森芳洲の出身地と伝えられています。

長浜市では、雨森芳洲関係資料を含む「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録されたこと、雨森芳洲の生誕350年、長浜市と対馬市「友好のまち縁組」締結から20周年にあたることから、平成30年11月10日・11日を中心に、さまざまな記念事業を開催しました。

■記念講演会（於：高月まちづくりセンター）

「滋賀・京都に関係する朝鮮通信使の美術について～芳洲の誠信のころを未来へ～」

講師：片山真理子氏（東京藝術大学美術学部 非常勤講師）



「焼絵」の解説をされる、片山さん

■雨森芳洲子どもミュージカル

（於：長浜市立富永小学校）

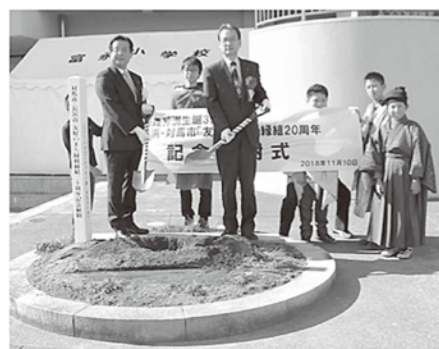
13年目を迎える伝統行事。郷土出身の偉人・雨森芳洲の人生や思想を、全校の児童が参加して演じます。



「雨森芳洲子どもミュージカル」

■記念植樹式（於：長浜市立富永小学校）

「芳洲子どもミュージカル」に続いて、小学校校庭において、長浜市・対馬市「友好のまち縁組」20周年を記念して、植樹式を行いました。植樹した木は、対馬市の木である「ヒトツバタゴ」。植樹には、長浜市長・対馬副市長に加え、子どもミュージカルに出演した子どもたちも参加し、にぎやかに行われました。



「友好のまち縁組」20周年記念植樹式

■展示事業

①高月観音の里歴史民俗資料館

雨森芳洲生誕350年記念企画展「雨森芳洲の教育論」

会期：平成30年10月3日～11月26日

②長浜城歴史博物館

長浜市対馬市「友好のまち縁組」20周年記念特別陳列「雨森芳洲と対馬」

会期：平成30年12月1日～平成31年1月14日



高月観音の里歴史民俗資料館



長浜城歴史博物館「雨森芳洲と対馬」

■「友好のまち」交流事業 「対馬を訪ねて」

平成31年11月23日～25日

雨森芳洲生誕350年・長浜市対馬市「友好のまち縁組」20周年については、長浜市だけでなく長崎県対馬市においても、11月24日（土）を中心に各種記念事業が開催されました。長浜市からは、市長以下、芳洲会・観音の里資料館友の会会員など12名が対馬市を訪問し、さまざまな事業に参加しました。

【対馬での参加行事】

記念法要・墓参（雨森家菩提寺・長寿院）、記念「誠信」の集い（対馬市交流センター）

対馬の史跡見学（宗家菩提寺・万松院、対馬藩お船江、元寇来襲地・小茂田浜、石屋根の残る集落、万関橋など）



生誕350年・「友好のまち」20周年記念「誠信」の集い



生誕350年記念墓参

★平成31年11月23日を中心に、雨森芳洲の出身地・長浜市において「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会」を開催します。関係自治体・関係団体等の皆さまの多数のお越しをお待ちしております。

日光ウォーク (10/8～13)・川越唐人揃い (11/11) 無事終了

川越唐人揃いパレード実行委員会
事務局長 小川 満

初めての日光ウォーク

「ユネスコ登録を家康公へ報告に行こう」を合い言葉に、初めて5泊6日、165kmの日光ウォークが行われた。主催は、ソウル～東京の通信使の道を歩いている「友情ウォークの会」と当委員会。友情ウォークの会は2年に1度、今まで6回ソウル～東京を歩いているが、日光にはまだ行ってなかった。日韓のウォーカーみんなが一度歩きたいと願っていた。

準備は2017年8月から始まった。その年かかってルート、日程などを検討した。江戸時代の通信使は1636年(寛永13)、1643年(寛永20)、1655年(明暦元)の3回、日光に行っているが、江戸から4泊で日光に行っている。しかし、2日目などは粕壁(春日部)宿から小山宿まで43kmほどを一日で歩いている。これでは団体ウォークは無理ということで一泊増やすことにした。それでも一日平均30kmである。



行程が決まったら、参加者の募集、ホテルの手配、出発地の東本願寺や日光東照宮などとの打ち合わせなどやるべきことが盛りだくさん。そしてまずは下見が必要だ。全行程の下見を最初は車で2日間かけて行い、次は実際に歩いての下見を2018年2月～6月に6回行った。その間、4月下旬には2016年の高麗郡建郡1300年に合わせて始まった、神奈川県大磯の高来(たかく)神社から埼玉県日高市の高麗(こま)神社まで100kmを3泊4日で歩く「若光ウォーク」にも共催として参加した。

さて、いよいよ本番。韓国から通信使ウォークに参加している8名の方が参加し、



全行程歩いた人は在日コリアンと日本人合わせて30名ほど。韓国人の参加は嬉しいがやはり気を使う。江戸時代の通信使の応接の苦労を思った。

初日は浅草の東本願寺で出発式。数日前、門前に通信使の宿舎であったという説明版を台東区が立ててくれた。意気揚々と出発し、千

住、草加、越谷を通り春日部着。日はとっぷり暮れていた。二日目は幸手、栗橋から利根川を渡り、古河着。三日目は間々田、その後寄り道をして大川島神社の通信使絵馬を見学して小山着。四日目は小金井、石橋、雀宮から宇都宮着。五日目は徳次郎から今市へ、日光杉並木を歩く。最後の宿は電車に乗って鬼怒川温泉で疲れを癒す。六日目、今市宿館跡を見学して杉並木を歩く。神橋で川越藩行列保存会がお出迎え。韓国ウォーカーに正使・副使・従事官の衣装を着てもらい東照宮への参道をパレード。東照宮の神職に出迎えてもらい到着式を行い、東照宮の拝観と輪王寺宝物殿を見学して無事解散。天気にも恵まれ有意義な6日間でしたが、ウォーク初心者の私は、翌日は足が痛くて一日起き上がれませんでした。(笑)

第14回川越唐人揃いパレード

日光ウォークから1ヶ月後の11月

11日(日)、秋晴れの下、川越の蔵造りの街並みを朝鮮通信使とさまざまな衣装を着た団体が、楽しく華やかにパレードを行った。



参加者は400名を超え、観客は延べ3万人。すっかり川越の秋の風物詩ともいえるイベントになったが、これまでの道のりを思うと感慨深い。

さて、今回の最大のトピックは通信使の子孫たちの参加である。当パレードの主役である通信使の正使役として、2016年には呂運俊さん(第1回正使・呂祐吉17代孫)、17年には柳鍾穆さん(釜山文化財団代表理事)になって頂いた。

その17年に、通信使顕彰会(後孫会)の方々5名がパレードに飛び入り参加された。そこで次回は是非、正使・副使役をとお願いしたところ快諾。ということで、今回正使役は慶重善さん(第1回副使・慶暹15代孫)、副使役は李東鎬さん(室町時代の通信使・李藝17代孫)が、そして総勢20名の子孫



の会のみなさんが横断幕を掲げてパレード。沿道から温かい拍手が寄せられた。

こうした、朝鮮通信使を通じての顔が見える交流が日韓の友好と東アジアの平和に、ささやかでも寄与できればと願っている。

第15回 川越唐人揃いパレード2019年11月10日(日) 予定

大垣市制 100 周年記念 朝鮮通信使に係る様々な事業を展開!

岐阜県大垣市は大正7年（1918）4月1日に誕生し、平成30年に市制100周年を迎えました。この記念すべき節目を「これまで」の歩みと「これから」をむすぶ年と位置づけ、新たな未来に向かって飛躍・発展する契機と捉え、市民総参加で多彩な事業を展開しており、ユネスコ「世界の記憶」に登録された朝鮮通信使に係る事業も複数開催しました。

1 朝鮮通信使ゆかりの地スタンプラリーの開催

長崎県対馬市から栃木県日光市の17都市にご協力いただき、全18か所を巡る朝鮮通信使ゆかりの地スタンプラリーを開催しました。ラリーカードとスマホを使った2つのスタンプラリーを実施し、多くの皆様にご参加いただきました。

2 朝鮮通信使ユネスコ登録記念企画展「大垣と朝鮮通信使」の開催

大垣における朝鮮通信使の通行や宿泊の様子、さらには大垣の人々に与えた影響などについて紹介する企画展を開催しました。

平成30年10月6日（土）の開場式には、フレンドリーシティである昌原市のイ・ヒョンギウ第二副市長にもご出席いただきました。朝鮮通信使と大垣の関わりについての貴重な書物、絵画などの資料をご覧いただける展示内容となっており、開催期間中にはたくさんの方にご来館いただきました。



ユネスコ登録記念企画展開場式

3 「朝鮮通信使に関する記録」ユネスコ登録記念碑の建立・除幕式



ユネスコ登録記念碑除幕式

平成30年10月7日（日）、ユネスコ登録を記念し、また朝鮮通信使が通った美濃路をPRするため、ユネスコ登録記念碑を建立しました。

記念碑を建立した美濃路大垣宿本陣跡のある竹島町において、チョン・ファンソン駐名古屋大韓民国総領事、大垣市のフレンドリーシティである昌原市のイ・ヒョンギウ第二副市长にお越しいただき、記念碑の除幕式を行いました。

4 朝鮮通信使行列再現

ユネスコ登録記念碑除幕した後、大垣市制100周年を記念したおおがき大パレード内にて、朝鮮通信使行列再現を行いました。朝鮮通信使が宿泊したとされる全昌寺近くの奥の細道むすびの地記念館にて開催した出発セレモニーでは、小川大垣市長と昌原市のイ・ヒョンギウ第二副市长との国書交換式や、サムルノリ隊パフォーマンスなど伝統芸能の披露を行い、総勢130名の行列となり美濃路から大垣駅通りを練り歩きました。

大垣駅通りでも、同時開催の十万石まつり内メインステージにてサムルノリ隊パフォーマンスや、朝鮮通信使の影響を受けたと古くから伝わる十六町豊年踊を披露し、多くの方に朝鮮通信使の文化を体感していただきました。



朝鮮通信使行列出発セレモニー



朝鮮通信使行列再現

在日本大韓民国民団滋賀県地方本部 創団70周年記念朝鮮通信使シンポジウム

2018年12月2日（日）びわこ大津プリンスホテルにて開催

○基調講演・朝鮮通信使と韓日関係の未来 仲尾宏教授

○パネルディスカッション

*コーディネーター：仲尾宏教授

パネラー：竹内真道 宗安寺 住職

門脇正人 愛荘町立歴史文化博物館館長

河柄俊 近江渡来人倶楽部代表 渡来人

歴史館館長金東凡 在日本大韓民国民団滋賀県地方本部 団長

このシンポジウムは、滋賀民団創団70周年記念と昨年10月に朝鮮通信使がユネスコ世界記憶遺産に韓日共同で申請し登録され、その一周年を記念して開催した。滋賀県は雨森芳洲先生に代表されるように通信使と縁が深く、宿泊したお寺や朝鮮人街道として名前が残っている道もあります。韓日関係が徴用工・慰安婦問題などでギクシャクしている昨今にあって、通信使の果たした役割、意義を再確認し韓日友好・親善に寄与できればとの思いから企画した。



<シンポジウムの様子>
向かって左 仲尾 宏 教授

当日は駐大阪大韓民国総領事館呉泰奎総領事、滋賀県三日月大造知事や関係官署役員、近畿地区在日本大韓民国民団団長団員など約200名の参加者が集まり、仲尾教授・パネラーの話に耳を傾けた。

会場前エントランスでは、「雨森芳洲関係資料」より、対馬藩主に上申し朝鮮外交の指針書となった“交隣

提醒”の写本、芳洲が創った朝鮮語学習書“全一道人”の写本、雨森芳洲肖像画や、正使副使の衣装、おもてなしのお料理を再現した模型などを展示して、賑わいのある「街道」としてシンポジウムを盛り上げた。

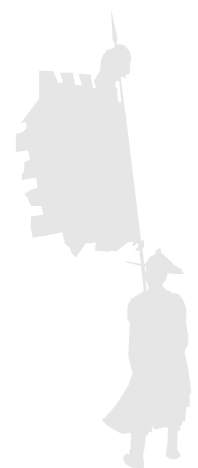
参加者は今後も朝鮮通信使について勉強の機会をもち、韓日関係に於いて

雨森芳洲が伝える誠心をもって交わることを実践していきたいと話した。



<会場前エントランス>

左側 展示物 右側 おもてなしの食膳



平成30年度実施イベントについて

朝鮮通信使関連資料のユネスコ「世界の記憶」登録記念及び朝鮮通信使寄港の地「室津」を生かした地域活性化のため、平成30年11月11日に「未来へつなぐ善隣友好の絆～朝鮮通信使 親書交換～」を開催しました。

神戸朝鮮高等学校生徒による民俗舞踊、地域の小学校児童による日韓2か国語での善隣友好メッセージ、駐神戸大韓民国総領事とたつの市長による親書交換式などが行われ、室津の地から日韓両国の平和を願うメッセージが発信されました。



神戸朝鮮高等学校生徒による民俗舞踊



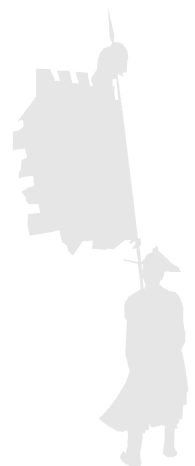
朝鮮通信使行列再現パレード



駐神戸大韓民国総領事とたつの市長による親書交換式



地域の小学校児童による日韓2か国語での善隣友好メッセージ披露



友情ウォーク日光訪問に旅たつ



日頃縁地連絡協議会の皆様には大変お世話になっております。

私共東京日韓親善協会連合会は、様々な交流を通じ草の根活動を行っております。この度、機会を頂きましたので朝鮮通信使が、目的地の江戸に到着した第4次～6次の3回にわたり日光東照宮まで足を伸ばした。幕府の要請に従ったものですが、当

初通信士は消極的で抵抗さえしたと言う。故事にならい友情ウォークが日光訪問した事を紹介させていただきます。

2018年10月8日、朝8時半台風連発の合間を縫うように日光を目指す友情ウォーク30名の雄姿が、浅草東本願寺にあった。

江戸年間260年日韓両国の平和関係をつなぎ通した、12回の「朝鮮通信使の存在が、昨年10月ユネスコの世界遺産登録を記念し、当時使節団が、日光を訪問した故事になら5泊6日の友情ウォークです。

当日は、浅草東本願寺、東京日韓親善協会連合会、民団台東支部、が朝鮮通信使世界遺産登録記念事業実行委員会、台東区議会議員、都議会議員が多数見送りをを行い旅路の平安を祈った。

友情ウォークは、遠藤靖夫会長以下30名で、韓国から8名の参加があった。使節団は、無事日光市に到着する事を待つ関係者を目指して、元気に旅立った。日韓パートナーシップの原点の友情ウォークの旅だ。

東京日韓親善協会連合会会長 保坂三蔵
東京日韓協ニュースへの投稿お待ちしております。

編集長 木村光男



過去と現在が交錯する街 しものせき

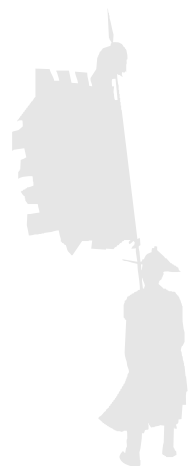
三方を海に囲まれた山口県下関市は、本州と九州の結節点として中国や朝鮮半島などと交流が盛んに行われ、さまざまな歴史遺産が残っています。朝鮮通信使が往来した時代には、本州最初の寄港地として知られていました。現在でも下関港から国際定期フェリーが出港しており、韓国などのアジア諸国の窓口としての役割を担っています。

本市では、毎年8月開催の馬関まつりにおいて、大韓民国の釜山文化財団と共同で、「朝鮮通信使行列再現」と「日韓文化交流公演 ふれあいステージ」を開催しています。

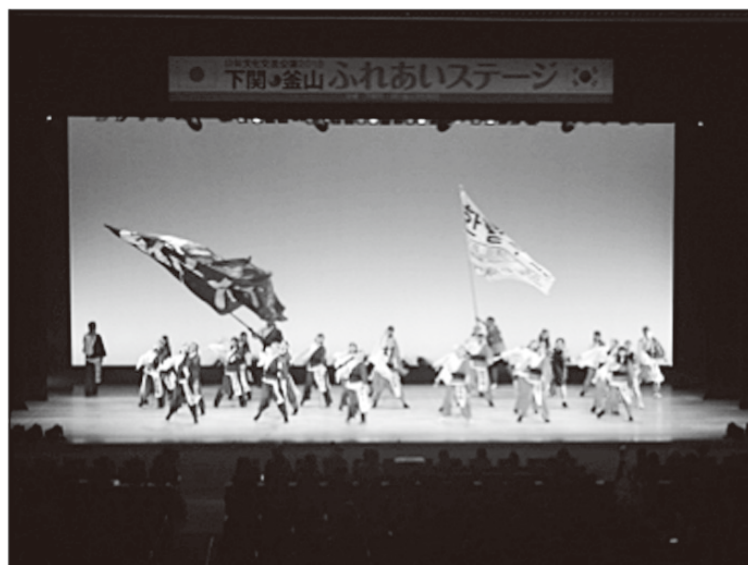
平成29年に15回目を迎えた朝鮮通信使行列再現では、大韓民国釜山広域市から鄭鉉珉(チョン・ヒョンミン)副市長を正使役に迎え、下関と釜山の両都市から約200名が行列に参加しました。関門海峡をバックに、芸術団による音楽や舞踊とともに進んでいく華やかな行列は圧巻です。行列後は、親書交換式を行い、長府藩主に扮した前田晋太郎市長と鄭鉉珉(チョン・ヒョンミン)行政副市長との間で親書を交わしました。



[行列の様子 正使役は鄭鉉珉行政副市長]



行列再現が開催された翌日の日韓文化交流公演では、下関と釜山で活躍している五つの文化団体による公演が披露されました。日本と韓国の文化の違いが体感できるステージは観る人を魅了し、団体観客席の通路を通りパフォーマンスをするなど、会場一体となって楽しむことができる公演となりました。その他にも、1711年に来日した朝鮮通信使に対して長州藩が供した、おもてなし料理の複製などを展示し、来場した方々に朝鮮通信使について親しんでいただきました。



[日韓文化交流公演 日韓ふれあいステージの様子]



1. 相島歴史の会 2018年度の行事からトピックス!

4月21日に相島フェスタで第4回歴史セミナー朝鮮通信使講演他実施。

8月28日、「福岡—釜山8大学間学生交流プログラム」を相島実施に協力。参加の韓国側大学は釜山・東西・東亜・釜慶、日本側の大学は九大・福大・九産大・福岡女子大。日韓の大学生21名に参加頂き、相島の通信使史跡踏査や通信使のミニ講演を実施した。来年も計画あるようで若者に期待したい。

11月24日、西南学院大学で通信使ユネスコ登録世界の記憶1周年記念登録記念シンポジウムを日韓交流・新宮チェビの会との共催、西南学院大学のご協力で実施。参加者100余名。詳細は別途新宮チェビの会の報告を参照ください。

今回は、当会発足(20号に既報)(註)の因となった61名(侍12名・水夫49名)溺死者の300回忌供養会についてご報告します。



<石碑(供養塔)>

・300回忌供養会実施について

神宮寺所蔵の合同位牌は8月16日の施餓鬼供養で永年供養されていましたが、通信使の通信使迎後中の事故との関連は知られていませんでした。それが2010年10月の拓本採りとその後の調査で明白になりました。

溺死事故から300年の今年、島の区長はじめ、漁業組合長、老人会、婦人会、神徒、檀徒、観音様世話人会など島の8団体と島外の通信使関連6団体での実行委員会形式で「島人が主役」とのテーマで何度も打合せし7月22日に無事に供養会を終えたことは喜びひとしおでした。

享保4年(1719)、黒田藩の命で通信使の迎護に携わったことから、300回の記念すべき供養の実行委員長は黒田藩の遺徳を讃える藤香会の副会長の毛屋嘉明氏にお願いしました(会長は元自民党副総裁の山崎拓氏)。毛屋氏は当時の黒田藩24騎の一人、毛屋主水武久の末裔であり正に適役でした。

晴天に恵まれ、波止近くの経塔様広場に約70名の参列者を迎え、毛屋実行委員長の挨拶ではじまり、東京在住の黒田長高(16代)氏と山崎拓氏からの祝電を披露。神宮寺中澤住職による表白、読経の中に参加者焼香。次いで今回の供養のために

作曲(東旭秀)・作詞(示車右甫)頂いた筑前琵琶「藍島受難碑」を奉納頂きました。その後、きずな館に移動し「ユネスコ登録の意義と61名溺死の経緯」を事務局の今村にて講演。昼食後は、島の北西部の百合越浜の石碑の前で供養を計画していましたが、連日の猛暑で残念ながら断念しました。食事後の直会で当時の通信使饗応の関係者の苦労を偲びました。



<合同位牌(61名溺死)神宮寺所蔵>

神宮寺住職や島の人々で、この合同位牌や他の位牌(遭難者他)を含め 春のお彼岸、岸夏の8月16日「施餓鬼供養」に永年供養されてきたことは、実に尊い出来事だと思います。

260年平和が続いた江戸時代、ユネスコの世界の記憶に登録された朝鮮通信使、このような痛ましい犠牲にも支えられた通信使だと思います。

当時の事故の記録は日本側に8つ、朝鮮側に2つと新たに確認できました。

然しながら未解明な点はまだあり、各庄屋等の関連記録(水夫の出方)を見つけ当時の通信使の実態に迫りたいと思います。

筑前琵琶 藍島殉難碑

頃は享保己亥の八月に 錦帆あげて通信使
滄溟時に鯨波超え 万里し至る 藍の島
波風高き玄海の 壱岐と対馬を通ずれば
朝鮮国へ至るとや 彼の王朝の通信使
この島辿り行き来せる 筑前国の孤島なり
これを迎うる福岡藩 四海皆これ兄弟と
誠信の交わり共にせん さもあらばあれ
遡ること十日余り 饗応支度の最中なる
七月二十四日の卯の刻に 夜来の雨の逆巻て
高波どっと襲い来る



東旭秀さんの筑前琵琶演奏奉納

港へ控えし船数多 もまれもまれて消ゆるなり
生者必滅 世の習い 士卒・水夫の六十一有の姿なし
時しも延享戊辰は三月の 三十回忌の法要に
公人も浦人も 百合越浜の碑の前で 香華を手向け祈るなり

僧は唱えり およそ世に 生まれし人の一人 とて 仏にならぬ 者ぞなきと

南無の一念 声となり 雲間に青く明行きぬ
ここに 平成三十年 戊戌なる 七月二十二日
三百年の大遠忌 取りおこないて のちの世に
伝えゆくこそ かしこけれ
伝えゆくこそ かしこけれ

(詩吟)

信使迎えるの船 藍の村に泊す
雨天俄かに変ず 玄界灘
怒涛 牙を剥き 操船を破る
鬼人 哭泣す 殉難の仁を

平成三十年戊戌七月二十二日 参拝者一同

琵琶演奏・作曲：東旭秀 大師範
作詞：示車右甫

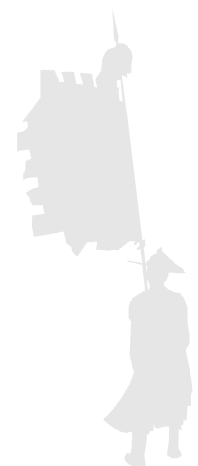
註) 拓本採り、その後の調査結果の詳細地連朝鮮通信使研究会研究紀要の

1号、福岡地方史研究会会報54号に掲載あり。

2. 2019年度の主行事(予定)

・4月20日(土) 相島フェスタ 第5回歴史セミナー「朝鮮通信使こぼれ話」
他と通信使史蹟案内。

・9月14日(土) 西南学院大学 第2回朝鮮通信使シンポジウム



○雨森芳洲先生生誕350周年記念

長浜市－対馬市友好のまち縁組20周年記念事業

「誠信」の集いの開催

雨森芳洲先生生誕から350周年の記念となった2018年、この年は対馬市と長浜市が友好のまゑ縁組を締結してから20周年でもありました。

この2つのことを記念して、雨森芳洲先生の誠信交隣の精神を対馬市民への理解を深めてもらうために、対馬市副市長が長浜市の記念事業に参加させていただいたとともに、対馬において「誠信の集い」を開催いたしました。

詳しい内容は長浜市様の記事においてご紹介いただいておりますので、割愛いたしますが、長浜市と対馬市の両市長による宣言書の締結や、長浜市の高月観音の里歴史民俗資料館学芸員 佐々木 悦也 様にご講演いただき、また長浜市のご紹介パネルを作成し展示するなど、対馬市民にとって雨森芳洲先生を改めて知り、先生がご縁となった長浜市様との関係について周知することができました。



○対馬市 朝鮮通信使キャラクター「つしねこ」誕生！

対馬市では現在、朝鮮通信使によるまちづくりを推進しており、市内において不足している朝鮮通信使の説明板設置や、朝鮮通信使に関する資料館の整備、朝鮮通信使に関する対馬の歴史マンガ製作など様々な取組みを行っています。

その中で本日は、新たに誕生した朝鮮通信使キャラクターについて皆様にお知らせしたいと思います。

このキャラクターは、デザイナーによる15個の図案の中から、対馬市と朝鮮通信使に関する活動を行っている市民によって組織された評価委員会において3キャラクターに選別され、さらにその中から、対馬市のすべての中学生にアンケートを行い、一番人気であったものとなっております。



対馬に生息する希少生物「ツシマヤマネコ」をモチーフに、朝鮮通信使行列の中の旗手衣装を着用したキャラクターです。

今後このキャラクターは対馬市の行う朝鮮通信使関連の取組みにおいて大いに活躍する予定です。

まずは皆様お見知りおきを！

○釜山文化財団 2019朝鮮通信使祭りのお知らせ

今年の朝鮮通信使お祭りは

・2019年5月3日（金）～5月6日（月）

- | | | | |
|-------------------|-----------|--------|-------------|
| ①シンポジウム、朝鮮通信使の夕べI | 釜山国立国学院 | 5/3(金) | 13:00~21:30 |
| ②朝鮮通信使平和の行列 | 竜頭山公演～光復路 | 5/4(土) | 14:00~17:00 |
| ③朝鮮通信使船出航セレモニー | 沿岸旅客ターミナル | 5/4(土) | 17:00~18:00 |
| ④朝鮮通信使交流の夕べ（晚餐） | 釜山市内ホテル | 5/4(土) | 18:30~20:00 |
| ⑤朝鮮通信使の夕べII | 沿岸旅客ターミナル | 5/5(日) | 18:30~20:00 |

以上の日程で開催予定です。

今年は朝鮮通信使復元船が釜山に来航！必見です。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(自治体・団体)

(2019年3月現在)

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	日光市 教育委員会	文化財課	栃木県日光市今市本町1番地
2	自治体	静岡市役所	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
3	自治体	大垣市	経済部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
4	自治体	長浜市	歴史遺産課	滋賀県長浜市八幡東町632番地
5	自治体	近江八幡市役所	文化観光課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
6	自治体	彦根市役所	シティプロモーション推進課	滋賀県彦根市元町4-2
7	自治体	京都市役所	国際化推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
8	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
9	自治体	瀬戸内市役所	秘書広報課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
10	自治体	福山市 教育委員会	文化振興課	広島県福山市東桜町3-5
11	自治体	呉市 文化スポーツ部	文化振興課	広島県呉市中央4-1-6
12	自治体	上関町 教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
13	自治体	下関市役所	文化振興課	山口県下関市南部町1-1
14	自治体	彦岐市 教育委員会	文化財課	長崎県彦岐市芦辺町深江鶴龜触515-1
15	自治体	白山市役所	文化振興課	石川県白山市殿町39
16	自治体	名古屋市 教育委員会	文化財保護室	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
17	自治体	たつの市 教育委員会	社会教育課	兵庫県たつの市龍野町富永1005-1
18	自治体	東京都台東区	都市交流課	東京都台東区東上野4-5-6
19	自治体	対馬市	文化交流・自然共生課	
20	団体	青丘人権文化の会	八木勝子	大阪府門真市南野口町23-3
21	団体	公益財団法人 高麗美術館		京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
22	団体	かみのせき郷土史学習にんじゃ隊	井上敬二	山口県熊毛郡上関町室津549
23	団体	津市分部町唐人踊保存会	会長 吉川 悟	三重県津市東丸之内19-3
24	団体	唐子踊保存会	会長 吉川悟	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4952-6
25	団体	芳洲会	会長 北村又郎	滋賀県長浜市高月町雨森1701
26	団体	朝鮮通信使行列振興会	会長 稲田 充	長崎県対馬市厳原町国分1441
27	団体	朝鮮通信使対馬顕彰事業会	会長 佐々木達也	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
28	団体	「静岡に文化の風を」の会	代表 佐藤俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
29	団体	東京対馬会	幹事長 糸瀬敬一	東京都大田区大森中2-6-6
30	団体	九州の中の朝鮮文化を考える会	嶋村初吉	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252
31	団体	日韓交流・新宮チエビの会	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
32	団体	日本コリア協会・大阪		大阪府大阪市北区錦町2-2
33	団体	日本コリア協会・福岡	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
34	団体	呉史談会	事務局長 高木克	広島県呉市西中央1-6-15-201
35	団体	(一社)対馬観光物産協会	会長 江口 栄	長崎県対馬市厳原町今屋敷672番地1
36	団体	(公財)蘭島文化振興財団	理事長 渡辺理一郎	広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
37	団体	NPO辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール	姜鶴子	東京都港区元麻布2-3-34
38	団体	かみのせき史談会	松村宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
39	団体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
40	団体	対州海運株式会社	社長 松原一征	長崎県対馬市厳原町久田道1661
41	団体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	会長 遠藤靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4
42	団体	株式会社 コミュニティメディア	社長 米田	長崎市恵美須町7-12-202
43	団体	在日本大韓国民団京都府地方本部	団長 金 政 弘	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
44	団体	軻の浦朝鮮通信使研究会	戸田和吉	広島県福山市今津町893
45	団体	川越唐人揃いソパレード実行委員会	会長 江藤善章	埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
46	団体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣 相 圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
47	団体	釜山素木會	会長 朴 洪 圭	大韓民国釜山広域市東區草梁上路92
48	団体	NPO縁地連 朝鮮通信使関係地域史研究部会	会長 仲尾 宏	山口県熊毛郡上関町室津549-7

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
49	団体	相島歴史の会	事務局 今村公亮	福岡県春日市千歳町3-30-51
50	団体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田民雄	広島市中区小網町2-1
51	団体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呂 健二	東京都港区南麻布1-7-32
52	団体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F
53	団体	静岡商工会議所	会頭 酒井公夫	静岡県静岡市葵区黒金町20-8
54	団体	NPO法人 AYUドリーム	理事長 雨宮令子	静岡県静岡市清水区興津中町60-2
55	団体	在日本大韓国民団山口県地方本部	団長 姜 昌 憲	山口県下関市東大和町2-13-10
56	団体	在日本大韓国民団福岡県地方本部	団長 李 相 鎬	福岡県福岡市博多区博多駅前 1-18-17
57	団体	NPO法人フレンド・アジア・ロード	理事長 貫井正之	愛知県名古屋千種区池上町3-10-1
58	団体	日韓トンネル推進京都府民会議	前田 逸郎	京都府京都市下京区大宮通松原下上五条町389
59	団体	一般社団法人新宮町おもてなし協会	長崎 武利	福岡県糟屋郡新宮町下府2-6-8
60	団体	東京日韓親善協会連合会	会長 保坂 三蔵	東京都台東区池之端2-5-36
61	団体	在日本大韓国民団大阪府地方本部	団長 鄭 鉉 権	大阪府大阪市北区中崎2-4-2
62	団体	在日本大韓国民団東京地方本部	団長 金 秀 吉	東京都港区南麻布1-7-32-5F
63	団体	在日本大韓国民団愛知県地方本部	団長 朴 茂 安	愛知県名古屋市中村区亀島1-6-2
64	団体	在日本大韓国民団神奈川県地方本部	団長 金 利 中	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
65	団体	神奈川県日韓親善協会連合会	会長 斎藤 文夫	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
66	団体	在日本大韓国民団埼玉県地方本部	団長 田 嶋 玗	埼玉県さいたま市浦和区常盤4-16-7
67	団体	在日本大韓国民団滋賀県地方本部	団長 金 東 凡	滋賀県大津市島の関9-5
68	団体	在日本大韓国民団岩手県地方本部	団長 申 百 澈	岩手県盛岡市本宮4丁目3-8
69	団体	在日本大韓国民団長崎県地方本部	団長 姜 成 春	長崎県長崎市樺島町6-15
70	団体	在日本大韓国民団宮城県地方本部	団長 金 政 郁	宮城県仙台市青葉区本町1-5-34
71	団体	在日本大韓国民団群馬県地方本部	団長 朴 旋 用	群馬県前橋市古市町497-5
72	団体	在日本大韓国民団高知県地方本部	団長 鄭 慶 文	高知県高知市北本町3-10-48
73	団体	在日本大韓国民団佐賀県地方本部	団長 鄭 清 俊	佐賀県佐賀市神野東1-5-9
74	団体	在日本大韓国民団静岡県地方本部	団長 李 宣 弘	静岡県静岡市葵区弥勒2-5-22
75	団体	在日本大韓国民団岡山県地方本部	団長 宋 燦 錫	岡山県岡山市北区駅前町1-5-21
76	団体	在日本大韓国民団富山県地方本部	団長 金 仁	富山県富山市牛島新町4-3
77	団体	在日本大韓国民団広島県地方本部	団長 李 英 俊	広島県広島市東区東蟹屋町7-9
78	団体	在日本大韓国民団石川県地方本部	団長 金 沂 秀	石川県金沢市広岡2-6-26
79	団体	日韓親善協会中央会	会長 河村建夫	東京都千代田区平河町2-7-1
80	団体	朝鮮通信使川御座船を考える会	代表 藤井 薫	大阪府豊中市千里園1-10-4
81	団体	千葉県日本韓国・朝鮮関係史研究会	会長 吉井 哲	千葉県千葉市美浜区真砂2-17-9
82	団体	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会	会長 広畑周子	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2806
83	団体	在日本大韓国民団茨城県地方本部	団長 張 仙 鶴	茨城県水戸市青柳町344-2
84	団体	朝鮮通信使日光ロード	代表 玉井久美子	埼玉県春日部市赤沼1366-1
85	団体	NPO法人 暮らしと耐震協議会	理事長 木谷 正道	神奈川県平塚市桃浜町11-33-207
86	団体	在日本大韓国民団 北海道地方本部	団長 李 圭 亮	札幌市中央区南9条西4丁目1-7 韓国文化館4F
87	団体	山口県日韓親善協会連合会	会長 友田 有	山口県下関市岬之町8-16 コーエービル2F
88	団体	朝鮮通信使と共に福岡の会	共同代表 李相鎬、嶋村初吉	福岡市博多区博多駅前1丁目18番17号
89	団体	宗教法人慈照院		京都市上京区今出川烏丸上る相国寺門前町703
90	団体	宗教法人 清見寺	代表役員 一條文昭	静岡県静岡市清水区興津清見寺町418-1
91	団体	東京国立博物館	総務課	東京都台東区上野公園13-9
92	団体	本蓮寺		岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓3194

(個人)

No.	種別	会 員 名	氏 名
1	個人	個人会員	大 賀 正 行
2	個人	個人会員	原 田 令 嗣
3	個人	個人会員	渡 辺 泰 子
4	個人	個人会員	萩 原 昭 一

No.	種別	会 員 名	氏 名
5	個人	個人会員	村 上 和 弘
6	個人	個人会員	山 梨 涉
7	個人	個人会員	盛 月 寿 美
8	個人	個人会員	高 田 好 浩
9	個人	個人会員	早 川 育 子

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名
10	個人	個人会員	蓮池章平
11	個人	個人会員	鈴木宏久
12	個人	個人会員	茶谷十六
13	個人	個人会員	宮岸美苗
14	個人	個人会員	中村洋一郎
15	個人	個人会員	松井三郎
16	個人	個人会員	浅野慎太郎
17	個人	個人会員	市山等
18	個人	個人会員	井上敬二
19	個人	個人会員	井上美登里
20	個人	個人会員	岩川龍一
21	個人	個人会員	上西法子
22	個人	個人会員	上村順造
23	個人	個人会員	梅本明則
24	個人	個人会員	岡部良一
25	個人	個人会員	奥村隆幸
26	個人	個人会員	小椋勉
27	個人	個人会員	小田章恵
28	個人	個人会員	寛真理子
29	個人	個人会員	片山真理子
30	個人	個人会員	加堂貞幸
31	個人	個人会員	紙上勝美
32	個人	個人会員	北村欽哉
33	個人	個人会員	北村久代
34	個人	個人会員	小泉和夫
35	個人	個人会員	上月香澄
36	個人	個人会員	齋藤健司
37	個人	個人会員	佐川昭
38	個人	個人会員	佐々木悦也
39	個人	個人会員	佐々木正行
40	個人	個人会員	佐畠儀子
41	個人	個人会員	柴村敬次郎
42	個人	個人会員	島祐二郎
43	個人	個人会員	庄野伸十郎
44	個人	個人会員	新本直登
45	個人	個人会員	杉田功
46	個人	個人会員	鈴木真弓
47	個人	個人会員	多賀俊介
48	個人	個人会員	高正晴子
49	個人	個人会員	武内禎子
50	個人	個人会員	田中解子
51	個人	個人会員	玉貫信也
52	個人	個人会員	蔦村和雄
53	個人	個人会員	千葉俊樹
54	個人	個人会員	坪井裕一郎
55	個人	個人会員	坪井智美
56	個人	個人会員	戸田和吉
57	個人	個人会員	長岡武司
58	個人	個人会員	中尾清

No	種別	会 員 名	氏 名
59	個人	個人会員	仲尾宏
60	個人	個人会員	中澤慶輝
61	個人	個人会員	永留史彦
62	個人	個人会員	仁位孝雄
63	個人	個人会員	西谷隆行
64	個人	個人会員	信原修
65	個人	個人会員	夫学柱
66	個人	個人会員	福田浩一
67	個人	個人会員	福永知佐子
68	個人	個人会員	藤本弘子
69	個人	個人会員	裴順姫
70	個人	個人会員	堀ちず子
71	個人	個人会員	町田一仁
72	個人	個人会員	松岡睦彦
73	個人	個人会員	丸尾とし子
74	個人	個人会員	蓑田俊輔
75	個人	個人会員	村田景昭
76	個人	個人会員	村田ミチ工
77	個人	個人会員	八木静恵
78	個人	個人会員	安田和幸
79	個人	個人会員	柳原一興
80	個人	個人会員	山口久範
81	個人	個人会員	山田雄彦
82	個人	個人会員	尹大辰
83	個人	個人会員	尹芝恵
84	個人	個人会員	芳村笙子
85	個人	個人会員	盧桂順
86	個人	個人会員	和田佐喜男
87	個人	個人会員	千田龍彦
88	個人	個人会員	吉田智史
89	個人	個人会員	魏聖銓
90	個人	個人会員	小川順子
91	個人	個人会員	永富青地
92	個人	個人会員	陳捷
93	個人	個人会員	森英一
94	個人	個人会員	山元香
95	個人	個人会員	桜井信寿
96	個人	個人会員	佐川嘉奈子
97	個人	個人会員	水田敏郎
98	個人	個人会員	李眩周
99	個人	個人会員	金鐘琿
100	個人	個人会員	石川泰成
101	個人	個人会員	宮原信哉
102	個人	個人会員	井本克二
103	個人	個人会員	朴曜子
104	個人	個人会員	子安孝夫
105	個人	個人会員	竹内真道

誠信交隣 2 1
縁地連だより No.22

発行日 2019年(平成31年)3月29日

発行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441番地

TEL 0920-53-6111

FAX 0920-52-1214

HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>

印刷 (資)厳原印刷所



朝鮮通信使船 復元船